



各 位

上場会社名 株式会社 京写
 代表者 代表取締役社長 児嶋 一登
 (コード番号 6837)
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 平岡 俊也
 (TEL 075-631-3193)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年4月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,200	360	330	240	16.74
今回修正予想(B)	8,400	450	440	330	23.02
増減額(B-A)	200	90	110	90	
増減率(%)	2.4	25.0	33.3	37.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	7,885	326	363	284	19.83

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,000	870	840	620	43.26
今回修正予想(B)	17,000	900	880	650	45.35
増減額(B-A)	0	30	40	30	
増減率(%)	0.0	3.4	4.8	4.8	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	16,121	798	786	519	36.25

修正の理由

当第1四半期連結累計期間の当社が属するプリント配線板業界の状況は、国内では消費税増税による駆け込み需要のマイナス影響は想定内にとどまり回復基調が続いております。海外では中国・アジア等の新興国において成長率は鈍化するものの緩やかな成長が維持されております。

当社の売上については、国内では消費税増税による駆け込み需要の反動からマイナス影響を懸念しておりましたが、前期に引き続き堅調に推移し、海外でも自動車関連分野及び家電製品が好調でありました。第2四半期においても同様の水準での受注が見込まれております。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前回予想を200百万円上回る8,400百万円となる見通しであります。

利益については、国内外での売上増及び原材料等の調達コスト低減の結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前回予想を90百万円上回る450百万円、経常利益は、前回予想を110百万円上回る440百万円、四半期純利益は、前回予想を90百万円上回る330百万円となる見通しであります。

通期の業績予想につきましては、売上高については当初予想からの変更はありません。営業利益、経常利益及び当期純利益については、上記第2四半期連結累計期間の業績予想の修正と当期末半期に予想される価格競争の激化や先行き不透明な状況を反映し、修正をしております。

以 上